

2020年度 日本工学院八王子専門学校

コンサート・イベント科

ミュージッククリテラシー3

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	中山 一郎			実務 経験	有	職種	レコード会社、コンサートプロモーター勤務経験				

授業概要

現在のエンタメ業界を読み解く基礎知識を講義する。業界の基礎となる知的財産（著作権等）にも触れる。講義のみならず、グループワークも適宜実施し、様々な議題について意見交換し結論を導き出すことで、会議の意義を学習する。

到達目標

音楽ビジネスにおける様々な業界・職業の存在とその役割、それぞれの関係性を把握すること、自身の考えを表現したり、他者の意見から学ぶコミュニケーション力を身につけることを目標としている。同時に、音楽業界における様々な職種の、いずれに進むことになっても、その他の職種への理解とリスクトを持つことができるようになることを目標とする。

授業方法

到達目標を実現するために必要となる、音楽業界における知識・テーマ（特に実技ではカヴァーされない範囲）を意識して計画される。具体的には、現在のエンタメ業界を読み解く基礎知識を講義する。業界の基礎となる知的財産（著作権等）にも触れる。講義のみならず、グループワークも適宜実施し、様々な議題について意見交換し結論を導き出すことで、会議の意義を学習する。

成績評価方法

- *試験と課題を総合的に評価する。
- *積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

履修上の注意

実際に音楽業界で求められるキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	ガイダンス：拡大するエンターテイメント・イベントの現在を把握する。
第2回	ロック・シーン(1)：ロックの発祥と、洋楽を中心としたロックの歴史、専門用語などを学ぶ。
第3回	ロック・シーン(2)：（前回の続き。現代まで）

第4回	ロック・シーン(3)：邦楽ロックの歴史について学ぶ。
第5回	ダンス・ミュージック(1)：ダンス・ミュージックの発祥と、洋楽を中心としたその歴史、専門用語などを学ぶ。
第6回	ダンス・ミュージック(2)：（前回の続き。現代まで）
第7回	ヒップ・ホップ/R&B(1)：R&Bやヒップホップの発祥と、その歴史、専門用語などを学ぶ。
第8回	ヒップ・ホップ/R&B(2)：（前回の続き）
第9回	シンガー・ソングライター(1)：シンガーソングライターの発祥と、その歴史、専門用語を、洋楽・邦楽双方の観点から学ぶ。
第10回	シンガー・ソングライター(2)：（前回の続き）
第11回	アイドル・シーン(1)：アイドル文化・ビジネスの発祥と、その歴史、専門用語を、洋楽・邦楽双方の観点から学ぶ
第12回	アイドル・シーン(2)：（前回の続き）
第13回	その他の音楽ジャンル：その他の音楽ジャンルについて、その歴史、専門用語などを学ぶ。
第14回	前期のまとめ(1)：前期のまとめとして、関連する映像（映画）鑑賞を予定。
第15回	前期のまとめ(2)：前期全体のまとめ